

PRESS RELEASE

■本資料は、福山市政記者クラブで配布しております。

2020年5月11日

報道関係各位

社会医療法人 祥和会
脳神経センター大田記念病院

福山青年会議所からの企画提案をきっかけに 当院が臨床での仕様と使用の評価をし、広島企業が製造した 使い捨てプラスチックガウン 発売開始のお知らせ

2020年5月11日(月)、五洋医療器から発売。

社会医療法人祥和会(理事長:大田泰正)の中核的医療施設である脳神経センター大田記念病院(院長:郡山達男、所在地:福山市沖野上町)では、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、調達が全国的に難しくなっている个人防护具「プラスチックガウン」について、一般社団法人福山青年会議所(理事長:村上達彦、以下、福山JC)からの企画提案と協力により、当院が新たな商品の開発コーディネートと、仕様評価、臨床での使用評価を行い、福山JCメンバーであるポリエチレンフィルムメーカーならびに東広島市の企業の協力を得て製造し、地元の医療機器商社を通じて、販売を開始することとなりましたのでお知らせいたします。

■企画の経緯と流れ

医師や医療資格職が着用する个人防护具(PPE: Personal Protective Equipment)は、当院でも3月以降、注文しても入荷しない状況となりました。

同時期、東京の医療機関に勤務する福山市出身の医師が、福山JCのメンバーに「プラスチックガウン」の調達について相談しました。

この話は大田記念病院へ取り次がれました。

既に当院は「無いものは作る」の方針の下、「SMSマスク」を独自に開発(※3ページに解説)。広島県内の自動車シートメーカーが製造し、福山市内の医療機器商社から発売する取り組みを始めていたからです。

福山JC側が当院へ「プラスチックガウン」の製造について企画提案し、あわせてJCメンバーの企業である梶原化学工業を紹介。ポリエチレンフィルムの供給を担当いただくことになりました。

一方、大田記念病院では、開発全体のコーディネートを行い



東広島市の自動車シート縫製メーカーに、ポリエチレンフィルムの型抜きと縫製を依頼しました。当院では試作段階から仕様の評価と、試作品による臨床現場における使用評価を行いました。

事の発端となった東京の医療機関や、当院の防護具不足を解消するだけでなく、福山市を中心とした岡山県エリアも含む備後地域全体の「プラスチックガウン」不足の解消に少しでも寄与できるよう、地元の医療機器商社に発売元を担っていただくことにいたしました。

■「使い捨てプラスチックガウン」のあらまし

「ばらのまち福山」にちなみ、ばらをイメージするピンク色の専用ポリエチレンフィルムを製造していただきました。万が一に備え、異物混入がないよう、食品用フィルムと同じ製造ラインが使われています。フィルム製造時に帯電防止加工を施すことで、着用時、脱着時に使用者の身体にまとわりつきを軽減する効果があります。

また、ポリエチレン製ですので、焼却処分時に塩素ガス等の有毒ガスが出ないことも特徴です。

新型コロナウイルスは飛沫により感染するとされており、ウイルスは何らかの液体とともに動くことから、使用評価にあたっては、防水性の確認を行いました。

プラスチックガウンの大きさはタテ 140cm で、身長 150cm～180cmの方が着用できるフリーサイズです。形状はかっぱう着のような背開きタイプ。カフ(袖口)にゴムを内蔵させ、手元からのウイルス侵入を防止します。

初回製造で 8,000 着を生産し、今後、既存の医療材料メーカーが販売するプラスチックガウンの供給が安定するまで、月産 10 万着を目標に製造を続ける予定です。

当商品はオープン価格とし、現在のところ 1 着あたり、200 円台前半(税別)を予定しています。



記事としてご掲載の場合、本リリースに掲載の写真データを提供いたします。祥和会・広報コミュニケーショングループまでご相談ください。

■販売方法

広島県・岡山県エリアを対象に、福山市の医療機器商社、五洋医療器株式会社が発売元となり、販売ならびに卸を担います。

販売は、医療機関や介護施設などに限らせていただきます。お申し込みは、五洋医療器ホームページ(<https://www.goyoh-medical.jp/>)の「プラスチックガウン」特設ページをご覧ください。

※なお、すべてのご注文にお応えできない場合がございます。あらかじめご了承ください。

■本件についてのお問い合わせ

①広島県・岡山県での販売、卸について

五洋医療器株式会社

<https://www.goyoh-medical.jp/>

本社・福山営業所／電話 084-926-5050

三原営業所／電話 0848-63-3352

広島営業所／電話 082-207-2525

岡山営業所／電話 086-256-2155

②報道機関の皆さまからのお問い合わせ

社会医療法人祥和会

広報コミュニケーショングループ

担当:島津 英昌

☎ 084-975-3909 [広報直通]

※本件について、取材等のご依頼は、その一切を祥和会・広報コミュニケーショングループで対応し、必要に応じ、ご協力先にお取り次ぎいたします。

※「SMSマスク」とは？

●去る2月、医療用サージカルマスクの在庫が底をつく可能性が出てきたため、大田記念病院が企画し、広島県内の自動車シートメーカー・広島ピーエスに製造していただき、地元の医療機器商社・五洋医療器が発売元となる流れで、3月11日より「SMSマスク」を発売しました。同日より、当院では事務系職員や、直接、患者さんの治療に当たらない医療職が使用しています。

●「SMSマスク」は素材として、ポリプロピレンで出来た『SMS不織布』を使用しています。この布は「スパンボンド不織布」(S)と「メルトブローン不織布」(M)をS、M、Sの順に三層構造で貼り合わせたもので、真ん中のメルトブローン不織布は、0.5～5ミクロンの繊維で出来ていることから、空気中の小さなゴミや花粉は通しません。繊維の密度が高く水の分子より空間が小さいため、水も漏れません。手術室等で使われている衛生的な布です。

●この布を広島県内の自動車シートメーカーにお願いし、人の顔に合わせて、L、M、Sの3サイズに型抜きしていただきました。既に100万枚以上生産され、広島県内の医療機関、食品メーカー、自動車部品メーカー等で使用されています。



【参考】 関係する組織・企業の概要と役割

企業名	概要	使い捨てプラスチックガウン 開発プロジェクトにおける役割
社会医療法人祥和会 脳神経センター大田記念病院	<ul style="list-style-type: none"> ●所在地／福山市沖野上町 3-6-28 ●病床数 213 床の急性期・回復期病院。 ●1976 年の開院以来、脳血管障害、脳神経疾患の専門性の高い医療に取り組む。脳卒中の治療実績は年間約 1,200 症例であり、その件数は全国で常時、3位～5位に位置する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●商品開発のコーディネーター。 ●開発時の仕様評価、臨床現場使用評価。
一般社団法人 福山青年会議所	<ul style="list-style-type: none"> ●所在地／福山市西町 2-10-1 福山商工会議所ビル7階 ●「明るい豊かな社会」の実現を同じ理想とし、次代の担い手たる責任感をもった指導者を目指す、20 歳から 40 歳までの青年の団体。 	<ul style="list-style-type: none"> ●商品開発の企画提案。 ●プラスチックガウンの製造が可能な会員企業の紹介と調整。
梶原化学工業株式会社	<ul style="list-style-type: none"> ●本社・工場／福山市千田町 1-35-22 ●ポリエチレン製品、ラミネート製品の製造、加工、販売を行う。フィルムの製膜、印刷加工、製袋加工まで一貫して行うことのできる備後地方では唯一の企業。 ●備後地方で唯一、最大3メートルの平面シートを作ることができる製造設備をもつことから、プラスチックガウンに使うシートの製造が可能となった。 	<ul style="list-style-type: none"> ●プラスチックガウンに使用する「食品用ポリエチレンフィルム」に「帯電加工防止」を行った素材の製造。
株式会社エイチ・アール・イー	<ul style="list-style-type: none"> ●本社・工場／東広島市豊栄町清武 2924-1 ●大型裁断機、プレス機、業務用ミシンなどを揃え、自動車をはじめ、あらゆる製品の縫製加工を行う。職人による手加工も行っていることから、特殊縫製にも対応している。 	<ul style="list-style-type: none"> ●裁断のための型枠開発。 ●ガウンの製造(ポリエチレンフィルム裁断、腕抜き部分のシール加工)。 ●パッキングと梱包。
五洋医療器株式会社	<ul style="list-style-type: none"> ●本社／福山市明神町 2-2-30 ●広島県と岡山県を営業エリアとする医療用器械器具商社。福山、三原、広島、岡山に営業拠点を持つ。 	<ul style="list-style-type: none"> ●「使い捨てプラスチックガウン」の広島県・岡山県エリア発売元。 <p>※広島県と岡山県内の医療機関への販売を行うとともに、卸売も実施。</p>